

令和元年 8月6日

関係機関の長及び関係者 各位

帯広畜産大学 生命・食料科学研究部門
食品科学分野 教員選考委員会
委員長 井上 昇

教員の公募について

時下、貴職におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、本学では生命・食料科学研究部門 食品科学分野 教員を下記の要領で公募いたしますので、関係各位に周知方よろしくお願いいたします。

記

1. 教員の職名

生命・食料科学研究部門 食品科学分野 准教授（テニュアトラック）（1名）

2. 採用条件

- 1) 任 期：5年（帯広畜産大学テニュアトラック制度による）
- 2) 給 与：年俸制適用教員給与規程適用（経歴および業績により決定）
- 3) 勤務形態：専門業務型裁量労働制適用

3. 職務内容

- 1) 本学が推進する発酵食品科学、特に醸造学をはじめとする微生物利用に関する教育・研究、及び本学の管理運営業務等
- 2) 担当授業科目（諸状況により変更する場合があります）
 - ① 学部 微生物学（分担）、酵素化学（分担）、食品科学基礎実習Ⅰ～Ⅲ（分担）、食品科学応用実習Ⅰ～Ⅲ（分担）、卒業研究ゼミナールⅠ～Ⅳ（分担）、卒業研究、全学農畜産実習（数年に一度）
 - ② 大学院（畜産科学専攻食品科学コース、別途資格審査あり）
国際農畜産衛生科学特論（分担）、食品機能科学特論（分担）、特別研究Ⅰ、Ⅱ、食品科学特別演習

4. 応募条件

- 1) 博士の学位を有する方。
- 2) 授業を英語で実施できる方。

- 3) 発酵食品科学に関する教育研究に高い能力を有し、意欲的に取り組むことができる方。これまでに発酵食品科学の教育、特に醸造学をはじめとする微生物の講義および実習における十分な教育経験を有し、現在の食品科学分野の教員とともに教育研究のグローバル化の推進に積極的に参画していただける方。

5. 必要書類

- 1) 履歴書（本学所定様式）※印刷したもの1部と電子媒体に保存したもの
- 2) 業績評価資料（本学所定様式）※電子媒体に保存したもののみ、印刷は不要
- 3) これまでの研究の概要、関連領域の教育・研究に対する抱負（それぞれ2,000字程度）（1部）
- 4) 推薦書（1名）
- 5) 推薦書作成者とは別に、応募者について照会できる方の連絡先（氏名、所属、職名、住所、Eメールアドレス、電話番号）を2名以上。
※1) 及び 2) については、書式を本学ホームページからダウンロードしてください。同時に、データは電子媒体（CD、USBメモリ等）に保存したものも提出してください。（URL <https://www.obihiro.ac.jp/careers>）
※2) に関連して、研究業績中の原著論文の各々については別刷またはコピーを、それ以外の業績については内容を証明する資料を、同資料の記載順にバインダー等に収納して提出してください。

※原則として応募書類については返却いたしません。応募書類の返却を希望される方はその旨を明記してください。

6. テニユア審査基準の概要

テニユア審査基準の概要は下記AからFの通りです。書類選考を通過した候補者については面接審査時にテニユア審査の詳細を話し合う機会を設けます。

- A. 本学が定める教員の多元的業績評価から教育・研究・社会貢献・管理運営いずれか2項目を選択し、5年目の最終テニユア審査時点において同一分野（文系又は理系）の本学専任准教授と比較して上位30%以内であること。
- B. 所属組織の長（センターの場合はセンター長、部門の場合は所属分野長）、所属組織以外の長（センター長、部門長又は分野長）、関連学問分野の教員1名、関連学問分野以外の教員1名による人物評価。所属組織の長以外の人選はテニユアトラック審査委員会が行う。また、准教授以下の職位の者を最低1名選出する。
- C. 大学院教育を担当する場合は最終テニユア審査時点で博士課程の副指導または主指導教員資格を有すること。

- D. 3年目に実施するテニユア中間評価ではAの状況を分析し、未達成の場合はメンター教員を交えて対策を検討する。
- E. 最終テニユア審査ではA～Cの結果を総合的に判断し、合格した場合は准教授（任期無し）として採用するが、不合格であった場合は雇用の継続は無い。
- F. テニユア審査不合格の場合は審査結果通知から6か月の猶予期間（セーフティネット期間）を与える。

7. その他

- 1) 選考は1次を書類審査、2次を面接審査によって行います。面接審査の旅費は自己負担となります。
- 2) 国家公務員・地方公務員等から引き続き本学に採用されることとなった場合でも、退職手当は原則として通算されません。
- 3) 多元的業績評価の実施について
 - ・現在、大学に所属されている方については、研究業績（過去すべての期間）の他、平成28年4月から平成31年3月までの期間の教育、社会貢献、管理運営の業績ごとに、その内容を証明する資料（例えば授業のシラバス、公開講座のプログラム、審議会委員の委嘱状等）で確認いたします。
 - ・現在、大学以外に所属されている方については、研究業績（過去すべての期間）に関して、その内容を証明する資料（例えば招待講演の依頼状、研究費採択通知書等）で確認いたします。
- 4) 帯広畜産大学では、多様な人材による教育・研究活動の推進、男女共同参画推進に努めており、女性の積極的な応募を歓迎します。また男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、教育・研究業績および人物の評価において、同等と認められる場合には女性を優先します。

7. 書類の提出期限

令和元年 9月30日必着

8. 採用予定日

令和元年 12月1日以降なるべく早い時期

9. 送付先

〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地
帯広畜産大学 総務課 人事・労務係 宛
封筒に「生命・食料科学研究部門 食品科学分野 テニユアトラック教員応募書類在中」と朱書きの上、簡易書留でお送りください。

10. 照会先

〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地

帯広畜産大学 生命・食料科学研究部門 食品科学分野
テニュアトラック教員選考委員会
委員長 井上 昇
電話 : 0155-49-5207
E-mail: ircpmi@obihiro.ac.jp